

サーバーライン多目的会員・購読者システム用

MPMSQL データベースのアタッチ、デタッチ

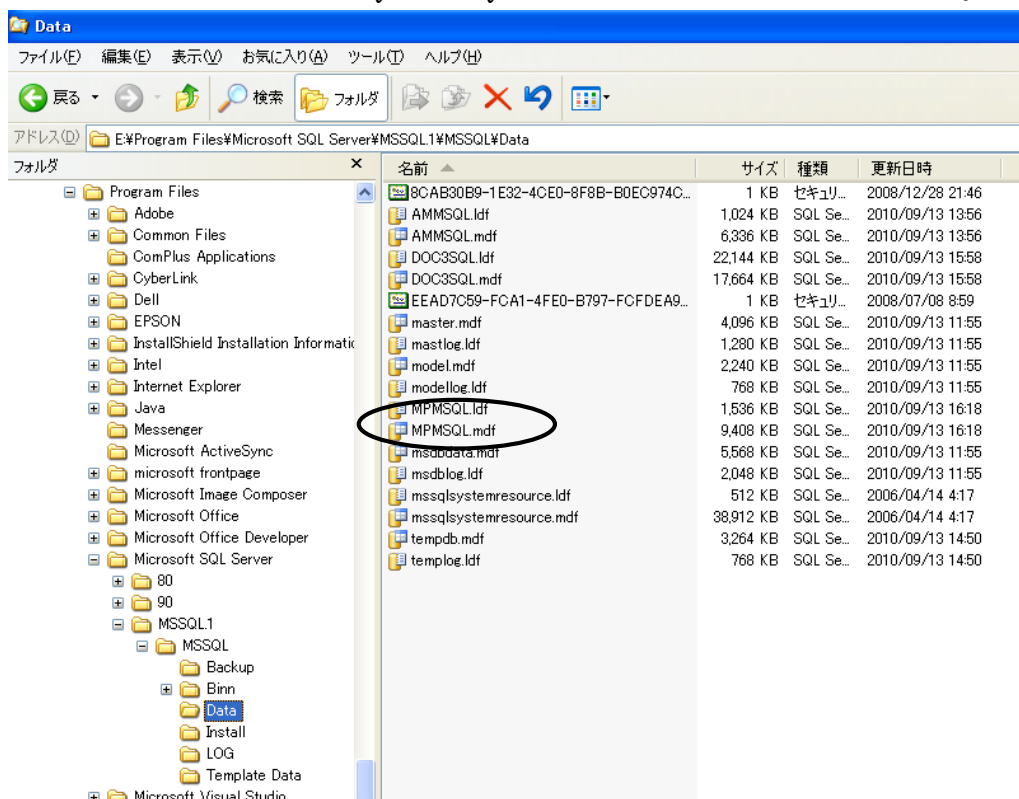
2010/9/13

2010/9/15 Rev. 1

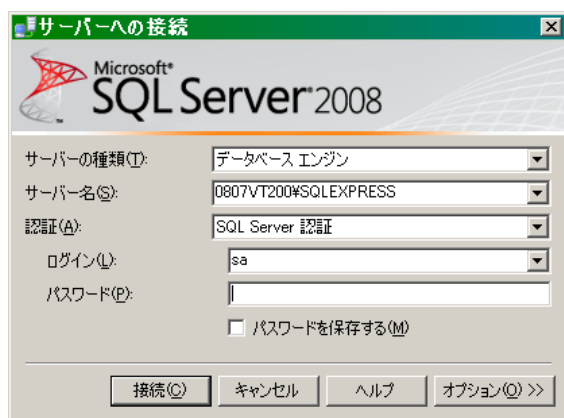
1 アタッチ

C:\¥HighSystem¥業務¥NPSSC にある付属の「サンプル SQL」か「空の SQL」フォルダーにはいっている「MPMSQL.mdf」と「MPMSQL.ldf」を「Program Files」「Microsoft SQL Server」「MSSQL1」「MSSQL」「DATA」のフォルダーにコピーを放り込みます。

「MSSQL1」フォルダーは「MSSQL10.SQLEXPRESS」の場合もあります。



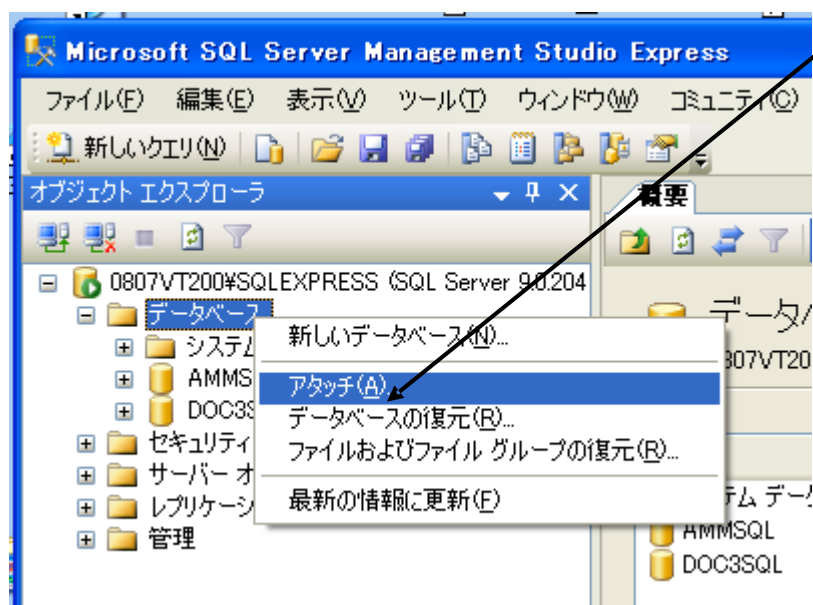
スタートボタンから「すべてのプログラム」「Microsoft SQL Server 2008」「SQL Server Management Studio」を選択します。「SQL Server 2008」の場合



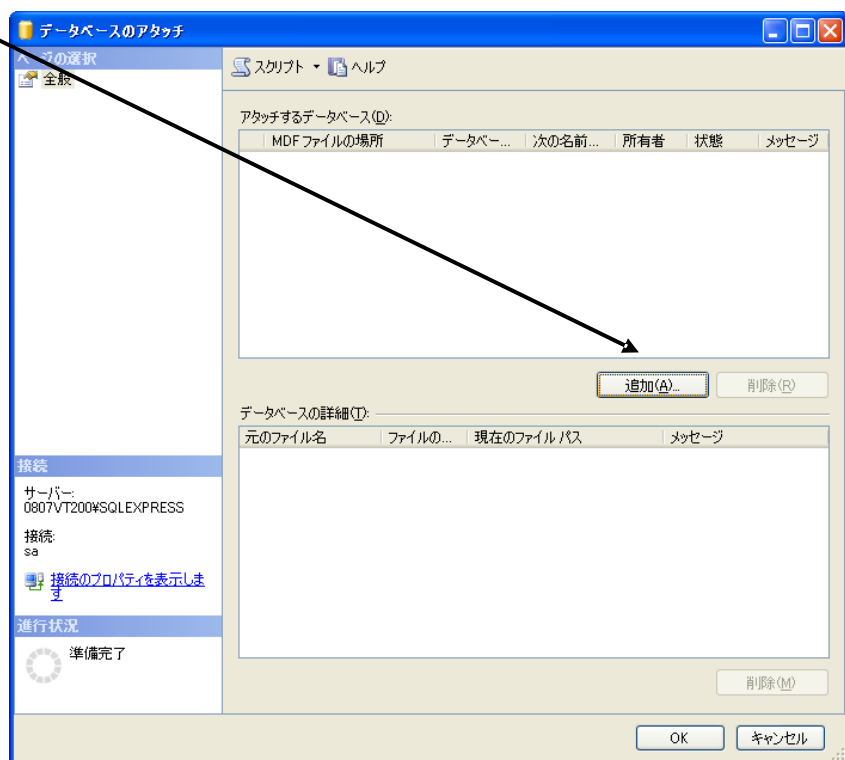
「SQL Server 2005」の場合は、スタートボタンから「すべてのプログラム」「Microsoft SQL Server 2005」「SQL Server Management Studio Express」を選択します。

左図が出たらパスワードをいれログインします。

「データベース」をマウス右クリックして表示されるプルダウンメニューから「アタッチ」を選択する。

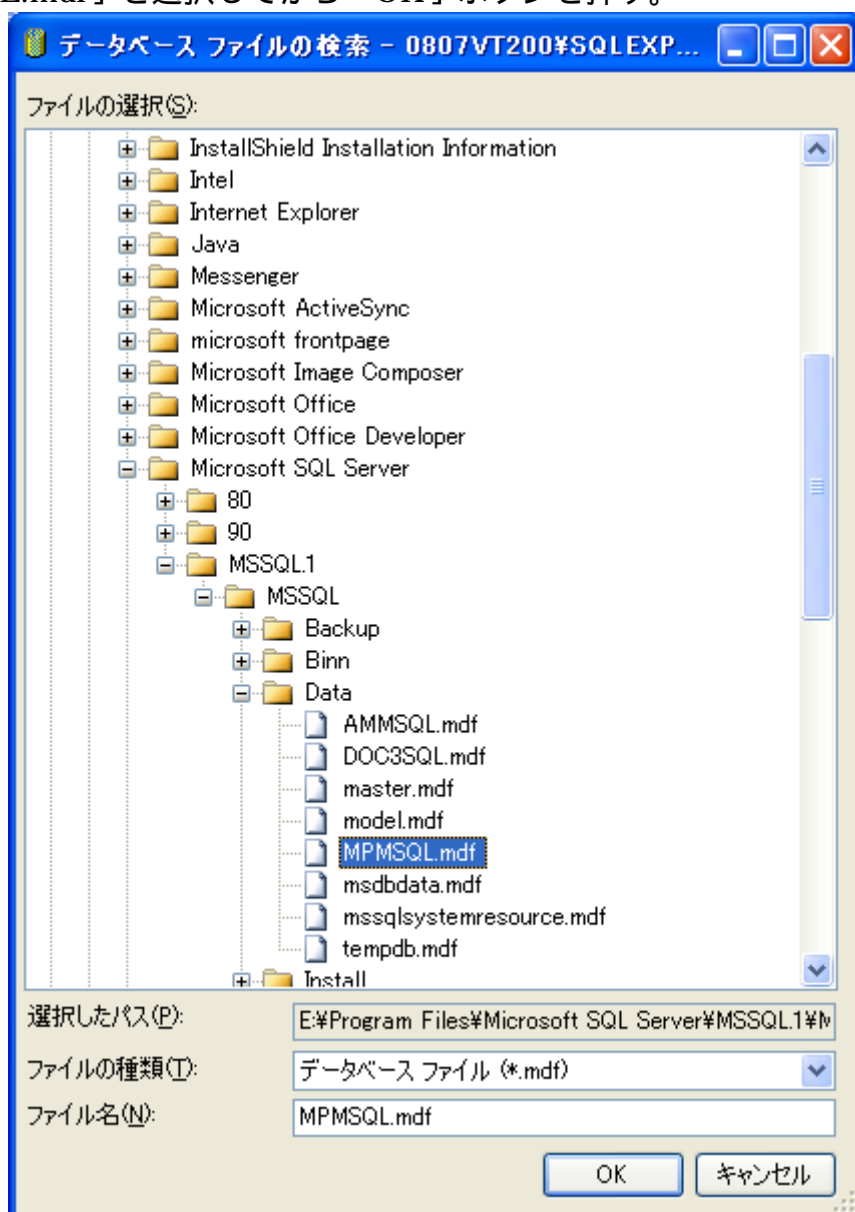


追加ボタンを押す



製品版 SQL Server では「Program Files」「Microsoft SQL Server」「MSSQL1」「MSSQL」「DATA」フォルダーが表示されますが無償の SQL Server Express 版では「Program Files」「Microsoft SQL Server」「MSSQL10.SQLEXPRESS」「MSSQL」「DATA」のフォルダーが表示されます。

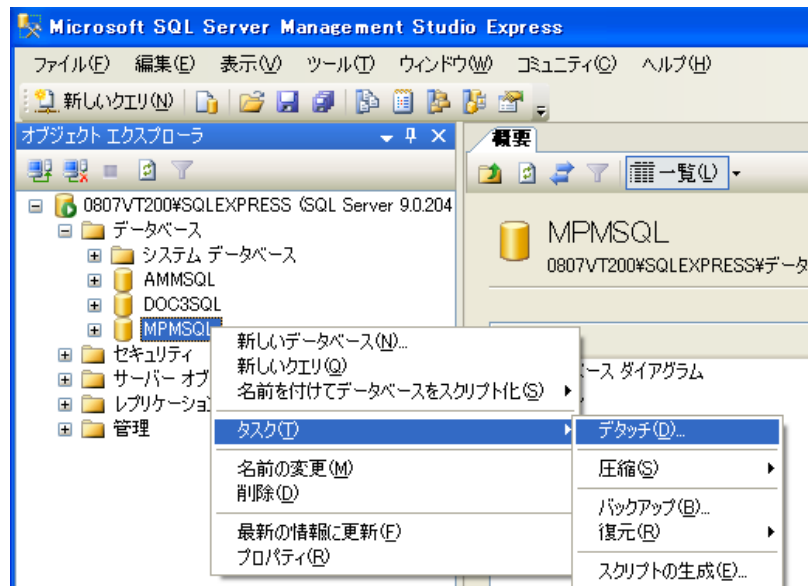
「MPMSQL.mdf」を選択してから「OK」ボタンを押す。



さらに「OK」ボタンを押す。

2 デタッチする場合

データベースをサンプルからユーザーデータ登録用の本番、空のデータベースに入れ替えるときにはサンプルを一旦デタッチしてから「空の SQL」フォルダーにある空の「MPMSQL.mdf」と「MPMSQL.ldf」をまた 1 のアタッチの項のようにアタッチします。「MPMSQL」をマウス右クリックして表示されるプルダウンメニューから「タスク」を選択し、さらに「デタッチ」を選択する。



しばらくすると終了してデータベースの下の MPMSQL は消えます。